

社会科学習指導案

日 時：平成27年11月6日（金）5校時

場 所：釜石市立大平中学校 1年A組教室

学 級：1年A組（男子18、女子9、計27名）

授業者：釜石市立大平中学校 教諭 小笠原 聡

1 単元 地理的分野 第3節 アフリカ州 おもな生産品にたよる生活からの変化

2 単元について

(1) 生徒観

入学当初は授業中に落ち着きが見られなかった生徒たちであるが、1学年も半ばを過ぎた最近では少しずつ落ち着いて授業に取り組めるようになってきている。また、「世界各地の人々の生活と環境」や「世界の諸地域」の学習へと進んでいくうちに、資料の読み取りに意欲的に取り組むようになってきている。

しかし、自ら理解しようとする姿勢や難しいと感じた発問に対する発言には消極的な面も見られる。平成27年度岩手県学習定着度状況調査の質問紙において、「中学校の社会の学習を楽しみにしていますか」という質問では「楽しみにしている」と回答した生徒が48%で、県平均の54%を下回っていることから学習への意欲が低いことが明らかである。さらに社会科の学習への関心・意欲を高める指導が必要である。

NRTの大領域別集計では、地理的分野、歴史的分野、公民的分野のすべてで全国平均を下回っている。また、観点別集計では特に社会的な思考・判断・表現の観点で全国比を大きく下回る結果となった。社会的な思考・判断・表現の力を高めていくことも課題であると言える。

(2) 教材観

本単元は、現行学習指導要領社会科地理的分野の2内容の(1)世界の様々な地域のウ「世界の諸地域」(ウ)アフリカを指導内容として構成したものである。

現行学習指導要領で「世界の諸地域」については、各州にくらす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、設定した主題をもとに、それぞれの州の地域的特色を理解させることを目的としている。主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土認識を深めるうえで効果的であるという観点から設定することとされている。

アフリカ州は脆弱なモノカルチャー経済や植民地時代からの歴史的背景、人口急増にともなう食料不足、エイズなどの感染症の流行など、先進国からの支援を受けながら取り組むべき課題も多く、日本との関わりも少なくない。そこで、本単元では日本とアフリカの関係を深く掘り下げ、生徒自身が身近に感じることができる授業を展開したい。

(3) 指導観

本校研究主題は「主体的に学習に取り組む生徒の育成～ユニバーサルデザインを基盤とした授業の工夫を通して～」である。この単元では、アフリカ州に関わる様々な視覚的にとらえることができる資料を活用することをユニバーサルデザインの工夫としたい。前時ではアフリカで青年海外協力隊として活動してきたゲストティーチャーから実際のアフリカの写真をもとにお話をいただき、学習への意欲を高めたい。本時では映像、実物を資料として活用することで、生徒と同じ同世代の生活ぶりや日本にも身近なものがあることを感じさせ、アフリカ州への興味、関心を高めることで、主体的に学習に取り組む生徒を育てることができるのではと考える。最終時は新聞記事の読み取りなど、アフリカ州の抱える問題点について資料を活用して読み取らせたい。

また、今回の授業は釜石市教育研究会社会科部会の授業も兼ねており、研究主題は「自ら社会にかかわる子どもを育てる社会科授業の展開ー学習内容の構造化と言語活動の充実を通してー」である。今回の授業では課題に対するまとめを自ら考えさせ、根拠を明確にしてまとめさせることで、思考力や表現力の育成や言語活動の充実につなげたい。フェアトレードにもふれ、自ら世界や日本にある問題に関わろうとする姿勢を養いたい。

3 単元の目標

<社会的事象への関心・意欲・態度> アフリカ州にくらす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとさせる。

<社会的な思考・判断・表現>アフリカ州の地域的特色を多面的、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現させる。

<資料活用の技能>アフリカ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、その資料から有用な情報を適切に選択して、読み取ったりまとめさせたりする。

<社会的事象についての知識・理解>アフリカ州について、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解させ、その知識を身につけさせる。

4 指導と評価の計画（本時1／3時間）

	学習課題	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	アフリカの自然や人々の生活はどのようなになっているのか	アフリカ州にくらす人々の生活の様子について関心をもっている。			アフリカ州の自然や人々の生活を大観し、地域的特色を理解している。
単元の主題 一次製品の生産に頼るアフリカの人々の生活はどのようなになっているか					
2	なぜガーナのカカオ農家は貧しいのか（本時）		アフリカの産業の地域的特色を多面的、多角的に考察し、結果を適切にまとめている。		アフリカ経済の課題やプランテーションについて理解している。
3	アフリカ州にはどのような課題があるのか		単元の主題に対するまとめを適切に表現している。	収集した資料から有用な情報を選択し、アフリカ州の課題とその解決について読み取ったりまとめたりしている。	

5 本時の指導

(1) 本時の目標

ガーナのカカオ農家の事例を通して、アフリカの産業の特色について考えるとともに、アフリカ経済の課題やプランテーションについて理解させる。

(2) 本時の評価規準

観点	評価規準	具体の評価規準	
		B：概ね満足	C：努力を要する生徒への支援
思考・判断・表現	アフリカの産業の地域的特色を多面的、多角的に考察し、結果を適切にまとめている。	ガーナのカカオ農家が貧しい理由について、根拠を明確にして適切にまとめている。	キーワードとなる言葉を捉えさせながら指導しまとめさせる
知識・理解	アフリカ経済の課題やプランテーションについて理解している。	アフリカ経済の課題やプランテーションについて理解している。	東南アジアでの学習を想起させる

(3) 本時の構想

本時の授業では、ユニバーサルデザインの工夫の一つである視覚化を多用し、生徒を主体的に学習に取り組みせたい。導入では本物のカカオ豆をつかい、まとめの前には焦点化、共有化させる手だてとして実際にカカオ豆の栽培に関わる映像を使う。これらの工夫により本時の目標に迫りたい。

(4) 展開

	学習活動 (学習形態)	指導上の留意点	評価の観点・方法
		<p>■学習形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの工夫 ☆焦点化 ○視覚化 △共有化 ◆その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・活用する資料
導入 (15分)	<p>1 前時の復習</p> <p>2 課題設定</p>	<p>◆一斉</p> <p>前時の内容を確認させる</p> <p>◆一斉</p> <p>○日本は7割のカカオ豆をガーナから輸入していることをつかみ、カカオ豆の価格と日本の米の価格を比較したり、日本とガーナの農家の生活ぶりを比較させたりすることで問題意識を醸成し、課題を設定させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カカオ豆 (実物) ・日本のカカオ豆の輸入先 (グラフ) ・ガーナの食事 (写真) ・1日1ドル25セント未満で暮らす人々の割合 (グラフ)
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">なぜガーナのカカオ農家は貧しいのか</div>	
展開 (25分)	<p>3 予想</p> <p>4 検証</p> <p>(1) 植民地支配から</p> <p>(2) 経済の課題から</p> <p>(3) 栽培の様子から</p> <p>(4) フェアトレードの面から</p>	<p>◆個別</p> <p>◆アジア州で学習した既習事項を想起させながら予想させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量が米よりも少ないから ・偉い人だけ賃金が高いから ・税金が取られるから など <p>◆一斉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植民地時代にカカオ豆が伝わってきたこと、プランテーションで栽培されていることをつかむ <p>◆一斉</p> <p>○2つの資料を読み取らせ、価格の面から商品作物の生産に頼る経済の課題点をつかませる</p> <p>○少年たちが手作業で収穫していること、賃金が安いことなどをつかむ</p> <p>○なぜ賃金が安いのかをつかみ、フェアトレードの実態とその製品が身近にあることをつかむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年表「カカオ豆の歴史」(年表) ・ガーナとナイジェリアの輸出品 (グラフ) ・カカオの価格の変動 (グラフ) ・カカオ農園で搾取 (映像) ・フェアトレードの仕組み (映像) ・アフリカ経済の課題やプランテーションについて理解する (知識・理解) [ノートへの記述]

終末 (10分)	5 まとめ	△☆自分の言葉で本時のまとめをさせ、発表させる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) ガーナでは商品作物であるカカオ豆が栽培されているが、<u>価格の変動が大きいこと</u> (原油などと違ってカカオ豆の<u>価格が安いこと</u>) や、<u>プランテーション</u>を経営している人が利益を独占しているために、農家の人の生活が貧しい。</p> </div>	ガーナのカカオ農家が貧しい理由について、根拠を明確にして適切にまとめている (思考・判断・表現) [ノートへの記述]
	6 次時の確認	・次時の確認をする	

板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>なぜガーナのカカオ農家は貧しいのか</p> </div> <p>◎ガーナのカカオ豆栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ…かつてヨーロッパの植民地 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ヨーロッパ人がカカオを持ち込み、プランテーションで栽培</p> <p style="text-align: center;">↓ <そのほかの作物> コーヒー、綿花など</p> <p>未だに商品作物や鉱山資源の輸出に頼る経済</p> <p><問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品作物の価格が不安定 ・商品作物と鉱山資源では価格が違う 	<p><予想></p> <p>生産量が米よりも少ないから</p> <p>偉い人だけ賃金が高いから</p> <p>税金が取られるから</p>
---	---